

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2024.11.7)

文 ; 武田 写真;黒山

気象 : 晴

活動エリア : 44林班は

活動内容 : 地域環境保全

参加者(会員) 猪川 誠、斧田一陽、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、坂井祥郎、武田壽夫、
当山清之 8名

活動内容 : 枯損木除伐、倒木処理 (ツケタリ 自然歩道中、本山寺参道の約 15m を補修)

<紅葉 未だ訪れず>

暦では立冬。最高気温も 15℃台だが、高温気味が続いた今年とあっては山の紅葉は歩みが襲い。ただ、作業で汗をかかないのは有難い。今日も山頂付近の枯損木除伐、倒木処理と里道(作業道)修復の二組に別れ作業に取り組む。

<この枯損木はどちら側に倒す？>



<処理した枯損木の根方>



<今日の成果>

44 林班はでは枯損木 6 本、倒木処理 10 本ほか。随分スッキリした(つもり)、伐るのも棚積みも力仕事。作業道(里道)は約 20m を整備+本山寺への自然歩道中、雨水の流下で抉れた部分約 15m を補修。

<作業風景①>

<途方にくれる倒木の始末>



<玉切りした枯損木は力を合せて移動>



<作業風景②>

<寿命が尽きたか、大きな枯損木>



<伐った枯損木の根方 太さに注目>



<横に寝かせた枯損木>



<作業道整備 鋤で道を広げる>



<拡幅し、土を谷側に寄せた作業道>



<参道の修復>



「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2024.11.17)

文；武田 写真；山 國

気 象：晴

活動エリア：45 林班に-03

活動内容：地域環境保全

参加者(会員) 大本孝子、斧田一陽、倉谷邦雄、黒山泰弘、佐々木一雄、武田壽夫、
山 國, (体験) 赤羽根滉平 計 8 名

活動内容：枯損木除伐、倒木処理 (ツケタリ 自然歩道中、本山寺参道の約 15m を補修)

<今日は半月、一周前は満月>

漱石に「金屏をうしろにしたり水仙花」の一句あり。さて、半年ぶりの 45 林班、活動地中、最も標高が低く(350m 以下)、冬の寒さは少ないが、行きは良いよい作業後の帰りはフーフーの難所である。しかも、枯損木や倒木が多くマツも「お歳」なのか、虫害なのかと思ってしまう。

朗報①久しぶりの体験参加者は 20 才代、入会を期待したい。朗報②ようやく紅葉始まる また、罾を巡視する 猟友会の面々と遭遇。イノシシの猟期とか。



<今日の成果>

マツの枯損木(周囲 30~40cm を含む)6 本、倒木 10 本を始末。林床は 5×30m を整備。体験君は除伐 1 本、倒木 3 本に挑む。

<作業の様子>



<先ずロープ架け。安全な伐倒を>



<直後、枝掛りして幹部が跳ね上がる>



<伐倒木は玉切りして尾根道脇に積む>



<高枝鋸でも伐倒する>



<紅葉風景>



<巡視中の猟友会諸氏 犬が頼もしい>



